



第42回全国高等学校総合文化祭 奨励賞受賞(3年連続入賞)!!



サイエンスインターハイ@SOJO 2018 準グランプリ 受賞!!

平成30年8月7日(火)～9日(木)、第42回全国高等学校総合文化祭「信州総文2018」が、諏訪東京理科大学と茅野市民館で開催されました。物理部は自然科学部門で物理研究発表を行い、上位5校以内に授与される奨励賞を受賞しました。

平成30年7月29日(日)、崇城大学池田キャンパスにて開催された、「第9回サイエンスインターハイ@SOJO」に参加しました。本年度は九州各県から27校、コンペティション部門20テーマ、ポスター発表部門101テーマもの参加がありました。

★ 奨励賞 ★ 【物理研究発表】 水溶液境界面の溶質拡散速度の測定に関する研究

本校は論文審査によるコンペティション部門に3テーマ入賞し、当日のポスター発表審査では数学部「かくれんぼ -Hide and Seek-」が準グランプリ、SS科学探究「ジャイロ式波力発電におけるジャイロ機構の研究」が宇宙航空システム工学科賞を受賞しました。このコンテストは、文系分野も含む幅広い研究テーマで参加できるコンテストです。



物理研究発表の審査(諏訪東京理科大)

全国高等学校総合文化祭(総文祭)は、「文化祭のインターハイ」ともいわれる高文連の公式大会で、物理研究発表には各都道府県の代表37校、全分野で186校が参加して口頭発表・ポスター発表を行いました。



準グランプリ
 「かくれんぼ - Hide and Seek -」



【巡検研修】野辺山電波望遠鏡

昨年度まで、「ひろしま総文2016」・「みやぎ総文2017」で、連続入賞していたため、今回の発表会の参加者は全国大会出場への嬉しさと同時に、連続入賞に向けての責任と期待に対するプレッシャーを感じていました。



宇宙航空システム工学科賞
 「ジャイロ式波力発電におけるジャイロ機構の研究」

発表当日は、発表者にも「一番満足のいく発表ができた」という達成感が感じられ、香住丘・物理部としては3年連続、物理部・水溶液班としては2年連続の入賞という結果になり、安堵感に満ちた表彰式になりました。



毎年、高校生の課題研究はレベルが高くなっており、入賞実績のある継続研究テーマで全国大会入賞を目指すことは非常に困難な状況になっていますが、最後まで丹念な測定とデータ解析を行い、強い意志で発表に臨んだことが3年連続入賞の結果に結び付きました。